

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年4月12日(2007.4.12)

【公表番号】特表2006-521379(P2006-521379A)

【公表日】平成18年9月21日(2006.9.21)

【年通号数】公開・登録公報2006-037

【出願番号】特願2006-508796(P2006-508796)

【国際特許分類】

C 07 D 207/24	(2006.01)
C 07 D 265/08	(2006.01)
C 07 D 279/06	(2006.01)
C 07 D 277/18	(2006.01)
C 07 D 263/28	(2006.01)
C 07 D 239/47	(2006.01)
C 07 D 211/56	(2006.01)
C 07 D 409/12	(2006.01)
A 61 K 31/535	(2006.01)
A 61 K 31/54	(2006.01)
A 61 K 31/426	(2006.01)
A 61 K 31/421	(2006.01)
A 61 K 31/505	(2006.01)
A 61 K 31/40	(2006.01)
A 61 K 31/445	(2006.01)
A 61 K 31/4535	(2006.01)
A 61 P 43/00	(2006.01)
A 61 P 25/28	(2006.01)
A 61 P 25/18	(2006.01)
A 61 P 25/00	(2006.01)
A 61 P 3/04	(2006.01)
A 61 P 27/06	(2006.01)
A 61 P 25/24	(2006.01)
A 61 P 25/16	(2006.01)
A 61 P 25/14	(2006.01)
A 61 P 1/04	(2006.01)
A 61 P 29/00	(2006.01)
A 61 P 25/02	(2006.01)
A 61 P 1/02	(2006.01)
A 61 P 9/02	(2006.01)

【F I】

C 07 D 207/24 C S P

C 07 D 265/08

C 07 D 279/06

C 07 D 277/18

C 07 D 263/28

C 07 D 239/47 Z

C 07 D 211/56

C 07 D 409/12

A 61 K 31/535

A 61 K 31/54

A	6	1	K	31/426			
A	6	1	K	31/421			
A	6	1	K	31/505			
A	6	1	K	31/40			
A	6	1	K	31/445			
A	6	1	K	31/4535			
A	6	1	P	43/00	1	1	1
A	6	1	P	25/28			
A	6	1	P	25/18			
A	6	1	P	25/00			
A	6	1	P	3/04			
A	6	1	P	27/06			
A	6	1	P	25/24			
A	6	1	P	25/16			
A	6	1	P	25/14			
A	6	1	P	1/04			
A	6	1	P	29/00			
A	6	1	P	25/02	1	0	1
A	6	1	P	1/02			
A	6	1	P	9/02			

## 【手續補正書】

【提出日】平成19年2月22日(2007.2.22)

## 【手続補正1】

### 【補正対象書類名】特許請求の範囲

### 【補正対象項目名】全文

### 【補正方法】変更

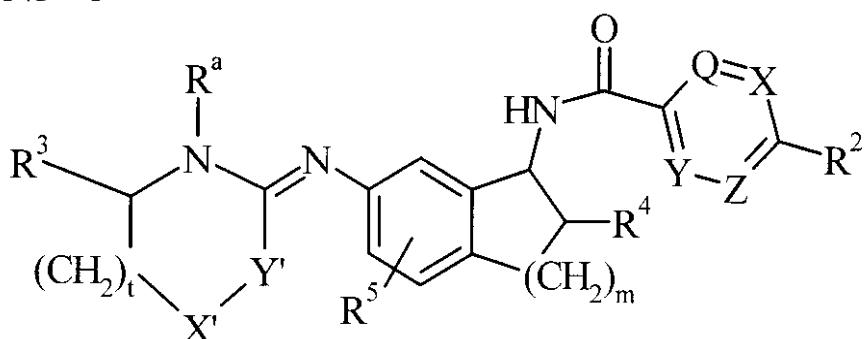
### 【補正の内容】

## 【特許請求の範囲】

### 【請求項 1】

次式

【化 1 】



〔式中、

Q、X、YおよびZは、CR<sup>1</sup>およびNからなる群から選択され、Q、X、YおよびZのうちの2つまでがNであり、Q、X、YおよびZのうちの少なくとも2つがCHであるか；またはYはCHであり、ZがCHであり「Q = X」がSを示してチオフェン環を形成し；

$R^1$  はそれぞれ独立に水素、ハロゲン、 $C_1 - C_4$  アルコキシ、および $C_1 - C_4$  アルキルからなる群から選択され；

$R^2$  は、ハロゲン； $C_1 - C_4$  アルコキシ； $C_1 - C_4$  アルキル； $C_3 - C_8$  シクロアルキル；シアノ；トリフルオロメチル；ハロゲン、 $C_1 - C_4$  アルコキシおよび $C_1 - C_4$  アルキル

からなる群から独立に選択される1～2個の置換基で置換されていることもあるピリジニル；ハロゲン、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルコキシ、およびC<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキルからなる群から選択される1個の置換基で置換されていることもあるチエニル；ハロゲン、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルコキシ、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキル、トリフルオロメチル、およびシアノからなる群から選択される1～3個の置換基で置換されていることもあるフェニル；およびハロゲン、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルコキシおよびC<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキルからなる群から独立に選択される1～2個の置換基で置換されているもあるピロリル

からなる群から選択され；

R<sup>3</sup>は水素、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキル、ジェミナルなジメチル；ハロゲン、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルコキシ、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキル、トリフルオロメチル、シアノ、およびニトロからなる群から独立に選択される1～3個の置換基で置換されていることもあるフェニル；フェニル環が、ハロゲン、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルコキシ、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキル、トリフルオロメチル、シアノ、およびニトロからなる群から独立に選択される1～3個の置換基で場合により置換されているベンジル；ハロゲン、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルコキシ、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキル、トリフルオロメチル、シアノ、およびニトロからなる群から独立に選択される1～3個の置換基で置換されていてもよいナフチル；ハロゲン、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルコキシ、およびC<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキルからなる群から独立に選択される1または2個の置換基で置換されていることもあるヘテロアリール；およびフェニル環がハロゲン、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルコキシ、およびC<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキルからなる群から選択される1個の置換基で置換されていてもよい1,3-ベンゾジオキソリル

からなる群から選択され；

R<sup>4</sup>は水素、ヒドロキシ、およびフルオロからなる群から選択され；

R<sup>5</sup>は水素、ハロゲン、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルコキシ、およびC<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキルからなる群から選択され；

R<sup>6</sup>は水素およびメチルからなる群から選択され；

tは0または1であり；

mは1または2であり；

X'は、O、S、およびCR'、R"からなる群から選択され、ここにR'は水素であり、R"は水素、メチルおよびエチルからなる群から選択されるか、もしくはR'、R"が一緒にになってオキソを形成し；そして

Y'はCH<sub>2</sub>、O、S、およびNRからなる群から選択され、ここにRは水素またはメチルであり；

但し、

X'がOまたはSであるとき、tは1であり、SはCH<sub>2</sub>であり；

Y'がO、S、またはNRであるとき、X'はCR'、R"であり；

X'がCH<sub>2</sub>であり、Y'がCH<sub>2</sub>であるとき、R<sup>3</sup>は水素ではない】

で示される化合物またはその製薬的に許容し得る付加塩。

### 【請求項2】

ムスカリン受容体に関連する障害を処置するための請求項1記載の化合物を含有する医薬製剤。

### 【請求項3】

認知障害を処置するための請求項1記載の化合物を含有する医薬製剤。

### 【請求項4】

アルツハイマー病を処置するための請求項1記載の化合物を含有する医薬製剤。

### 【請求項5】

統合失調症を処置するための請求項1記載の化合物を含有する医薬製剤。

### 【請求項6】

軽度認識障害を処置するための請求項1記載の化合物を含有する医薬製剤。

### 【請求項7】

統合失調症に関連する認知障害を処置するための請求項1記載の化合物を含有する医薬製剤。